

京阪ホールディングス株式会社が発行する 「サステナビリティボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、京阪ホールディングス株式会社が発行する第36回サステナビリティボンド・無担保社債（以下、「本債券」）への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2021年7月15日）。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の使途が①社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）および、②環境改善効果があること（グリーン性）の双方を有する債券です。

本債券による調達資金は、①車両新造「京阪電車13000系」、②「GOOD NATURE STATION」、③「NEMOHAMO」「GOOD NATURE MARKET」における脱プラスチックの取り組み、④「RAU」「SIZEN TO OZEN」におけるフェアトレードカカオを使用した商品に係る費用に充当する予定です。

また、本債券の発行にあたって策定した「サステナビリティボンド・フレームワーク」について、第三者機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）より、サステナビリティボンド・ガイドラインなどの原則との適合性に対するセカンドオピニオンを取得しております。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以上